

JABEE認定プログラム

「複合型生産システム工学」学習・教育目標

本プログラムは、高専教育の特徴である早期7年一貫教育により、主となる**専門分野（機械、電気・電子・情報、化学・生物、材料）**の知識に加えて、中京地区の伝統的特徴である素材から工業製品に至る**“ものづくり”**に必要な**生産システムに関する工学基礎知識、豊富な実験技術および新たな価値を創り出すことができる力**（*注）を身に付け、国際的に活躍できる実践的技術者を育成する。本プログラムの修了者は、以下の**姿勢・知識・能力**を身に付けている必要がある。

（*注）社会のニーズに対応して有用な製品や良質のサービスを実現するため、習得した知識・技術をもとに自ら進んで、技術的諸問題の解決や新たな“ものづくり”に取り組める能力

(A)技術者としての姿勢 (a,b,e,g)

- < 視野 > 自己と世界の関係を理解し地球規模で物事を眺めることができる。(a)
- < 技術者倫理 > 生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚できる。(b)
- < 意欲 > 習得した知識・能力を超える問題に備えて、継続的・自律的に学習できる。(e, g)

(B)基礎・専門の知識とその応用力 (c, d, e, h)

- < 基礎 > 数学、自然科学および情報技術の知識の内容を習得し、それを活用できる。(c)
- < 専門 > 基礎工学および主となる専門分野に加えて、生産システムに関する専門工学(生産・素材・計測に関する工学ならびに知識に関する工学)の知識を習得し、それを活用できる。(d)
- < 展開 > 習得した知識をもとに創造性を発揮し、限られた時間内で仕事を計画的に進めまとめることができる。(c, d, e, h)

(C)コミュニケーション能力 (f)

- < 発表 > 自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に記述・伝達・討論できる。(f)
- < 英語 > 英語による基本的なコミュニケーションができる。(f)

注:文末のアルファベットは
JABEEの基準1(1)との
対応関係を示す。